

日本学術会議化学委員会（第24期・第8回）＋化学企画分科会（第3回）議事要旨

日時： 令和元年5月29日（水） 11:30-12:30

場所： 分子科学研究所 岡崎コンファレンスセンター 1F 中会議室

出席者： 相田美砂子、阿尻雅文、岡本裕巳、加藤昌子、川合眞紀、菅原洋子、
関根千津、高原淳、茶谷直人、所 千晴、中村栄一、渡辺芳人

欠席者： 橋本和仁、君塚信夫

事務局： なし

（敬称略）

議題および議事：

1. 前回議事要旨の確認

修正なく承認された。

2. 分子研所長招聘会議について

- ・ 会合の段取りについて確認した。（資料2）
- ・ 趣旨は、提言がまとまってきたので、委員以外からも意見を聴く場としたい。
- ・ 文科省の岡村さんに15分ほどのプレゼンをいただく。
- ・ 要旨を参加者に配布する。

3. 化学委員会合同分科会について

- ・ 12月の科学委員会各分科会合同会議案につき委員長から説明があった。（資料3、4）
- ・ 大学改革について、山本先生に講演をいただく。講演は1件とし、いろいろな議論をする建て付けとする。

4. 「情報科学との融合による新化学創成」小委員会報告

- ・ 提言がまとまってきたので、今日の午後のシンポジウムで意見を聴く。

5. 「化学分野の大型研究計画評価（マスタープラン2020）小委員会報告」

- ・ 継続検討案件は継続となった。
- ・ 新規案件は6/17締切りの評価の結果待ちである。
- ・ 日本の合成化学の力量が全体として低下しているので、合成化学に対する新しい取り組みとそれに関する教育を行う全国組織の構築を今後のマスタープランとして考えてはどうかとの議論が行われた。

6. その他

- ・ 地方にある大学で化学に限らず自然科学系が弱くなってきている。それに関する提言を物理化学・生物物理化学分科会で検討中である。12月の公開シンポジウムで意見をいただく機会を設定したい。→相田委員が講演（話題提供）する。
- ・ オープンサイエンスについて、化学から情報に関して話してほしいとの要望あり。今日のシンポジウム講演者に参加をお願いする予定。
- ・ 有機化学分科会で、構造解析がパラダイムシフト的に変わりつつあることをまとめて出してはどうかと。（マイクロED）などで、大きい結晶でなくても構造解析が可能で、いろい

ろな結晶が混ざっていても一気に解析できる。スクリーニングができるので、既知化合物情報から新規なものを抽出できる) 新しい微量分析の展望。カテゴリーは報告でどうか。有機結晶だけではないので、合同で検討する方向で進める。

以上
関根 記